

パブリックコメント第22号

「第二次健康常陸大宮21計画(案)」に対するご意見を募集します

常陸大宮市では、健康の増進の総合的な推進を図る「第二次健康常陸大宮21計画」を策定するため、市民の皆さんからのご意見を募集するものです。

◎案の公表日

平成26年1月10日(金)

◎意見の募集期間

平成26年1月10日(金)～平成26年2月8日(土)

◎公表案及び公表方法

「第二次健康常陸大宮21計画(案)」

- ・市保健福祉部健康推進課健康推進G〔総合保健福祉センター(かがやき)内〕、各総合支所市民福祉課で閲覧
- ・市ホームページにて公表

◎意見を提出できる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体
- ・市内に存する事務所または事業所に勤務する方
- ・市内に存する学校に在学する方
- ・上記に掲げるもののほか、市に納税義務がある方

◎意見の提出方法

意見応募用紙は、市のホームページを参照するか市保健福祉部健康推進課〔総合保健福祉センター(かがやき)内〕、または各総合支所市民福祉課に置いてありますので、次のいずれかの方法で提出してください。提出していただける意見は、意見応募用紙1枚につき1意見、1メールにつき1意見となります。

- ・直接持参・・・市保健福祉部健康推進課健康推進G〔総合保健福祉センター(かがやき)内〕または各総合支所市民福祉課
- ・郵送・・・〒319-2254 常陸大宮市北町388-2 市保健福祉部健康推進課健康推進G
- ・FAX・・・市保健福祉部健康推進課健康推進G 54-7123
- ・Eメール・・・kagayaki@city.hitachiomiya.lg.jp
(件名を「第二次健康常陸大宮21計画(案)の意見」として提出してください)

※電話での受付は行いません。

匿名での受付は行いません。(提出いただいたご意見について、内容の確認をする際に必要なため)

◎結果の公表

提出していただいたご意見の内容、検討結果については、次の方法により公表します。

- ・広報常陸大宮お知らせ版及び市ホームページにて公表します。
- ・市保健福祉部健康推進課健康推進G〔総合保健福祉センター(かがやき)内〕、各総合支所市民福祉課で閲覧できます。

※ご意見をいただいた方の氏名等は、一切公表しません。

※提出されたご意見について、個別の回答はしません。

※内容が類似するご意見は、取りまとめて公表することがあります。

問 **かがやき** 健康推進課健康推進G ☎54-7121 FAX 54-7123

✉ kagayaki@city.hitachiomiya.lg.jp

H・P <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

「第二次健康常陸大宮21計画(案)」の概要

1 策定の趣旨

この計画は、健康増進法第8条第2項に基づき定めるもので、食育基本法第18条に基づく食育推進計画も含めたものとなります。平成18年度に第一次計画が策定され、その計画期間が経過することに伴い、今回第二次計画を策定するものです。

2 計画期間

平成26年度から平成30年度までの5年間の計画とします。

3 計画の基本理念

「みんなでつくろう 元気で長生きのまち ひたちおおみや」

4 課題別目標

1. 生活習慣病の予防

(1) がん

①75歳未満のがんの死亡者数の減少 ②がん検診の受診率の向上

(2) 循環器疾患

①75歳未満の脳血管疾患死亡者数の減少 ②75歳未満の虚血性心疾患死亡者数の減少
③高血圧の改善 ④脂質異常症の減少 ⑤メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少
⑥特定健康診査、特定保健指導の実施率の向上

(3) 糖尿病

①合併症の減少 ②治療継続者の割合の増加
③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少
④糖尿病有病者の増加の抑制

2. 生活習慣・社会環境の改善

(1) 栄養・食生活

①適正体重を維持している者の増加 ②健康な食習慣を有する者の割合の増加

(2) 身体活動・運動

運動習慣者の割合の増加

(3) 飲酒

①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 ②妊娠中の飲酒をなくす

(4) 喫煙

①成人の喫煙率の減少 ②妊娠中の喫煙をなくす

(5) 歯・口腔の健康

①口腔機能を維持・向上 ②歯の喪失防止 ③歯周病を有する者の減少
④乳幼児・学齢児のう蝕のない者の増加

3. 社会生活に必要な機能の維持・向上

(1) 高齢者の健康

健康寿命延伸による要介護認定者の減少

(2) こころの健康

自殺者の減少

(3) 休養

睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少

4. 食育推進に向けた取り組み

- ①朝食を毎日食べる者の割合の増加
- ②朝食で野菜を食べる者の割合の増加
- ③いつも食事のあいさつをする子どもの割合の増加
- ④親子で食について学ぶ機会の増加
- ⑤週4回以上食事のお手伝いをする子どもの割合の増加